

## GUEST1000\_3

4001: ここは、おいしい<sup>おい</sup> 茗荷<sup>みょうが</sup>を栽培<sup>さいばい</sup>している、老舗<sup>しにせ</sup>農家<sup>のうか</sup>です。

4002: キェ<sup>おん</sup> 音<sup>ごとう</sup>の語頭<sup>なんこうがい</sup>は、軟口蓋<sup>ぜつ</sup>と舌<sup>くうき</sup>で、空気を<sup>さえぎ</sup>遮ります。

4003: 津田<sup>つだ</sup>さんがアイルランド語<sup>ご</sup>で、ジェアグウチエルモジンと、挨拶<sup>あいさつ</sup>します。

4004: フェスティバルを<sup>りやく</sup>略してフェスと言いますが、<sup>い</sup> 実<sup>じつ</sup>は和製英語<sup>わせいえいご</sup>です。

4005: ソナムギェルツェンの著書<sup>ちよしよ</sup>は、黄色<sup>きいろ</sup>などカラフルな絵柄<sup>えがら</sup>ですね。

4006: 雪割草<sup>ゆきわりそう</sup>は、オランダ語<sup>ご</sup>でレーヴァルブルムピエと言います。<sup>い</sup>

4007: 中国<sup>ちゅうごく</sup>では、老若<sup>ろうにやく</sup>問わず、ウェイ<sup>い</sup>と言って電話<sup>でんわ</sup>に出ます。<sup>で</sup>

4008: チャットで仕事<sup>しごと</sup>をしている時<sup>とき</sup>に、妨害<sup>ぼうがい</sup>されると<sup>こま</sup>困ります。

4009: 自転車<sup>じてんしゃ</sup>に不慣<sup>ふ</sup>れで、漕ぐ<sup>こ</sup>のが遅<sup>おそ</sup>いですが、頑張<sup>がんば</sup>ってついていきます。

4010: ヴェリホフの死<sup>し</sup>を悼<sup>いた</sup>んで、お墓<sup>はか</sup>に花束<sup>はなたば</sup>を<sup>そな</sup>供えました。

4011: 特殊<sup>とくしゅ</sup>詐偽<sup>さぎ</sup>に遭<sup>あ</sup>わぬよう、日頃<sup>ひごろ</sup>から対策<sup>たいさく</sup>を<sup>かんが</sup>考<sup>かんが</sup>えておきましょう。

4012: 日付<sup>ひづけ</sup>が替<sup>か</sup>わる前<sup>まえ</sup>に、雑巾<sup>ぞうきん</sup>が<sup>お</sup>けを終わらせてしまいます。

4013: 私<sup>わたし</sup>は淡水魚<sup>たんすいぎょ</sup>を飼<sup>か</sup>っており、これが<sup>いや</sup>すごく癒<sup>いや</sup>されるんですよ。

4014: 甲殻類<sup>こうかくるい</sup>の殻<sup>から</sup>が原料<sup>げんりょう</sup>の、医療<sup>いりょう</sup>フィルムです。

4015: 子供<sup>こども</sup>の誕生<sup>たんじょうび</sup>日に、立派<sup>りっぱ</sup>なショートケーキ<sup>つく</sup>を作<sup>つく</sup>りましょう。

4016: スペイン語<sup>ご</sup>の複文<sup>ふくぶん</sup>が上<sup>じょう</sup>達<sup>たつ</sup>し、ビエンと褒<sup>ほ</sup>められました。

4017: 人<sup>ひと</sup>を殴<sup>なぐ</sup>るのが了<sup>りょう</sup>承<sup>しょう</sup>されるのは、格闘技<sup>かくとうぎ</sup>だけでしょう。

4018: 世<sup>よ</sup>の中には、ウォンバット<sup>なか</sup>を溺愛<sup>できあい</sup>している人<sup>ひと</sup>がいるそうです。

4019: 韓国語<sup>かんこくご</sup>の、テョ<sup>はつおん</sup>の発音<sup>にがて</sup>が苦手<sup>は</sup>なことを恥<sup>は</sup>じらっています。

4020: ボンジュール、サヴァ<sup>ご</sup>は、フランス語<sup>こうご</sup>の交語<sup>きほん</sup>の基本<sup>きほん</sup>です。

4021: カンツォーネを<sup>うた</sup>歌いながらの<sup>ふなたび</sup>舟旅は、<sup>たの</sup>楽しいですな。

4022: クァクさんの<sup>はな</sup>話し方は<sup>かた</sup>天花乱墜、<sup>てんからんつい</sup>生き生きとして<sup>い</sup>います。

4023: 彼は、<sup>かれ</sup>ビュースイカカードで、<sup>つうきん</sup>通勤も<sup>か</sup>買い物も<sup>もの</sup>楽しむ<sup>たの</sup>紳士です。

4024: テューダー<sup>ちょう</sup>朝は、<sup>そうぜつ</sup>壮絶な<sup>ばらせんそう</sup>薔薇戦争に<sup>か</sup>勝ち<sup>ぬ</sup>抜きました。

4025: パートナー<sup>がいしゃ</sup>会社が<sup>たかく</sup>多額の<sup>あかじ</sup>赤字で、<sup>けいえいはたん</sup>経営破綻してしまいました。

4026: ええ、<sup>さちこ</sup>幸子は、<sup>さんじゅうばん</sup>ツェルニー三十番を<sup>れんしゅう</sup>練習していますよ。

4027: <sup>やきゅうじょう</sup>野球場で、<sup>むかし</sup>昔の<sup>ひゃくえんだま</sup>百円玉を<sup>ひろ</sup>拾ったとは、<sup>めずら</sup>珍しいですね。

4028: ピアノの<sup>はっぴょうかい</sup>発表会まであと<sup>なのか</sup>七日で、ワクワクしています。

4029: 僕は<sup>ぼく</sup>接客業で、<sup>せつきやくぎょう</sup>コミュニケーション<sup>のうりよく</sup>能力を<sup>つちか</sup>培いました。

4030: 末と読む<sup>ばつ</sup>言葉は<sup>よ</sup>種類が<sup>ことば</sup>少なく、<sup>しゅるい</sup>末造が<sup>すく</sup>代表的<sup>ばつぞう</sup>です。

4031: ああ、<sup>きょうかい</sup>教会で、<sup>げつまつきとう</sup>月末祈祷している<sup>ひと</sup>人がいますね。

4032: 彼女は、<sup>かのじょ</sup>サンリオピューロランドで、<sup>ようしょうき</sup>幼少期を<sup>なつ</sup>懐かしんでいます。

4033: リャボヴァは、<sup>うんどう</sup>ジムでの<sup>けんこうてき</sup>運動で、<sup>や</sup>健康的に<sup>や</sup>痩せました。

4034: ブンガデョーの、<sup>だしひ</sup>山車曳き<sup>まつり</sup>祭を<sup>せつしょう</sup>窃笑するの<sup>しつれい</sup>は、失礼です。

4035: グィラ・ブスタボを<sup>き</sup>聴きながら、<sup>ふしよくふ</sup>不織布マスクを<sup>つく</sup>せっせと<sup>つく</sup>作っています。

4036: なるほど、<sup>じゅひ</sup>チランジアブツツィーは、<sup>ちゃくせい</sup>コルク樹皮などに<sup>ちゃくせい</sup>着生しますな。

4037: うーん、これは<sup>ずいぶん</sup>随分と<sup>なが</sup>長い、<sup>じゃばらじょう</sup>蛇腹状の<sup>ぎょうれつ</sup>行列ですね。

4038: ネカフェに<sup>こも</sup>籠って、<sup>けんさく</sup>ズィークイッドを<sup>つつ</sup>検索し<sup>つつ</sup>続けているそうです。

4039: 多くの<sup>おお</sup>球技で、<sup>きゅうぎ</sup>ファールとは<sup>はんそく</sup>反則という<sup>いみ</sup>意味を持ち<sup>も</sup>ます。

4040: んーと、<sup>はんにやしんぎょう</sup>般若心経に、<sup>じゅうはちかい</sup>十八界の<sup>か</sup>ことが<sup>か</sup>書いてありますね。

4041: ギュットクルームは、<sup>でんし</sup>電子キーを<sup>わす</sup>忘れると、<sup>けいこくおん</sup>警告音が<sup>な</sup>鳴ります。

4042: 健康<sup>けんこう</sup>のカギとなる酪酸菌<sup>らくさんきん</sup>が、テレビで注目<sup>ちゅうもく</sup>されています。

4043: 平衡感覚<sup>へいこうかんかく</sup>について、信憑性<sup>しんぴようせい</sup>の高い資料<sup>たか しりょう</sup>です。

4044: リューバは心配<sup>しんぱい</sup>せず、どんと構<sup>かま</sup>えている頼もしい人<sup>たの ひと</sup>です。

4045: ニュータウンの計画<sup>けいかく</sup>を練<sup>ね</sup>っているそうなので、プレゼンが楽しみ<sup>たの</sup>ですね。

4046: 奉公クラウド<sup>ほうこう</sup>は、サポートがかなり充<sup>じゅうじつ</sup>実<sup>じつ</sup>しています。

4047: 仕事<sup>しごと</sup>が中途半端<sup>ちゅうとはんぱ</sup>だと、上司<sup>じょうし</sup>に職務怠慢<sup>しよくむたいまん</sup>と思<sup>おも</sup>われますよ。

4048: 口授<sup>くじゅ</sup>による布教活動<sup>ふきょうかつどう</sup>もあると、初<sup>はじ</sup>め<sup>し</sup>て知<sup>し</sup>りました。

4049: デャコウォの、デャコとウォを、分<sup>わ</sup>かちて発音<sup>はつおん</sup>するのですか？

4050: ロシアでチェブラーシカの人気<sup>にんき</sup>は、簡単<sup>かんたん</sup>には下<sup>かこう</sup>降<sup>おち</sup>しないと思<sup>おも</sup>います。

4051: ヴィランには大抵<sup>たいてい</sup>、お追<sup>つい</sup>従<sup>しやう</sup>を述<sup>の</sup>べる子分<sup>こぶん</sup>がいます。

4052: 行灯水母<sup>あんどんくらげ</sup>やバーゲシィを見<sup>み</sup>ていると、心<sup>こころ</sup>が癒<sup>いや</sup>されます。

4053: 少し距離<sup>すこ きより</sup>がありますが、ベックスコーヒーまで徒歩<sup>とほ い</sup>で行<sup>い</sup>きましょう。

4054: 冬<sup>ふゆ</sup>のボーナスを、ツァイスレンズの購<sup>こうにゆうひ</sup>入<sup>あ</sup>費<sup>ひ</sup>に充<sup>あ</sup>てました。

4055: ヴォクシーなら、開眼式<sup>かいげんしき</sup>に参加<sup>さんか</sup>する全<sup>ぜん</sup>員<sup>いん</sup>が乗<sup>の</sup>れますね。

4056: 水しぶきを上げ<sup>みず あ</sup>て歩<sup>ある</sup>くペンギンが、可愛<sup>かわい</sup>くて堪<sup>たま</sup>りません。

4057: 等々力溪谷<sup>とどろきけいこく</sup>の近<sup>ちか</sup>くのカフェで、ティータイムにしまししょう。

4058: 空<sup>す</sup>いてるディズニーランドで遊<sup>あそ</sup>ぶのは、若<sup>じゃ</sup>干<sup>つかん</sup>気分<sup>きぶん</sup>が沈<sup>しず</sup>みませんか？

4059: 高田馬場<sup>たかだのばば</sup>に用<sup>よう</sup>があるので、つい<sup>よ</sup>でにマノーミエに寄<sup>よ</sup>ります。

4060: 仮病<sup>けびょう</sup>がばれぬよう、フュージョンアーツを買<sup>か</sup>い<sup>い</sup>に行くのはやめておきます。

4061: 澄まし顔<sup>す がお</sup>で飄々<sup>ひょうひょう</sup>として<sup>き</sup>いるので、気持<sup>き</sup>ち<sup>も</sup>が分<sup>わ</sup>かりにく<sup>く</sup>いです。

4062: 険<sup>けわ</sup>しい山道<sup>やまみち</sup>を越<sup>こ</sup>えたら、フォトジェニックな場所<sup>ばしょ</sup>に着<sup>つ</sup>きます。

4063: きょう たの じかん またた ま す  
今日は楽しくて、時間が瞬く間に過ぎてしまいました。

4064: ろせんへんこう ぶじ とうきよう とうちゃく  
路線変更することなく、無事に東京に到着しました。

4065: どうろ うんてん すてき まちな たの  
ミュンヘンの道路を運転して、素敵な街並みを楽しみたいです。

4066: みなみすなまち い ぎゃくほうこう ちず か  
南砂町に行くなら逆方向で、地図を貸しますよ。

4067: きゅう そうさく う さぎょう と か  
急に創作のアイデアが浮かんだので、作業に取り掛かります。

4068: こどもたち たの じょうふく か  
ほら、子供達が楽しそうに、条幅にザリガニと書いています。

4069: わしょくず ごおり た すず  
和食好きなグェアさんが、かき氷を食べながら涼んでいます。

4070: けごん たき み ひ たの  
華厳の滝を見ながらヴァイオリンを弾くと、楽しいですか？

4071: びやくや よなか げんそうそつきようきよく ひ  
白夜なら、夜中でも幻想即興曲が弾けます。

4072: くつ は ひと にく  
ペドロミラーリエスの靴を履いた、あの人が憎らしいのです。

4073: どけい こわ しごと さ つか お こ  
クォーツ時計が壊れ、仕事に差し支えるほど落ち込んでいます。

4074: ひと ぜんれつ なら ある たす  
その人、前列に倣って歩いてもらえると助かります。

4075: まめ せんべつ じゅうよう しごと  
グァー豆の選別は、とても重要な仕事です。

4076: え はつびやくひき ねこ えが  
この絵には、八百匹もの猫が描かれています。

4077: あせ む  
しかし、ウィンタースポーツでも、汗で蒸れることはありますぞ。

4078: さず さんしょう  
プランクトンについては、左図を参照してください。

4079: かし ふくざつ かんたん おぼ  
クゥポリアフの歌詞は複雑で、簡単には覚えられません。

4080: たいせつ ともだち き き  
チャさんは大切な友達のひとりで、よく気が利きます。

4081: まじめ ぜんでら りっぱ じゅうしょく  
真面目なグォさんは、禅寺の立派な住職となりました。

4082: ちょうじんてき むしゃしゅぎょう きゅうけい たいせつ  
超人的な武者修行ですが、休憩も大切ですよ。

4083: あま おに ぎょうそう えがお か  
甘いスィルニキは、鬼の形相を笑顔に変えました。

4084: ドゥーテストの陽性も、胎児のエコー写真も、すでに懐かしいです。

4085: 内側も外側も美しい、見事な金屏風ですね。

4086: チワワエンシスイエコラが、沢山植わっていて楽しくなります。

4087: スマホの着信音をミュートにして、業務を完遂しました。

4088: 挟侍の写真シェアするのは、どうかと思いますな。

4089: デュークエイセスの曲を聴きながら、梅雨を過ごすそうです。

4090: ミャオトークが、猫語翻訳アプリの基と思う人も、いるでしょう。

4091: えっと、ハイポネックスは、草木が丈夫に育つ液肥です。

4092: おしゃれな河原さんは、ひょっとして日向市のご出身ですか？

4093: クールな鈴木氏は、ダークブルーやオリーブ色が似合います。

4094: 阿弥陀如来に縋る人は沢山おり、ヒエルさんもその一人です。

4095: 夜な夜なボンドクェラを飲みながら、譜面起こしをしています。

4096: 会社で昇進しても、変わらず昼食がフォーだけです。

4097: ゲンジボタルは、フォトゥリスより少ない種類だそうです。

4098: ヨーシフォヴナは、「ダー、ニェット」と声を掛け、謹むよう合図した。

4099: 魔法界でのスポーツだったクィディッチが、現実化しました。

4100: デュムシュを見ると気が引き締まるとは、非常に個性的だ。

4101: 更科のざるそばや、アヴランシュ・ゲネーのギモーヴは格別だ。

4102: 滝さんから、クィスアズの話を聞き、知識が増えたぞ。

4103: リディアが型破りだとは、見た目とのギャップが激しい。

4104: マチュウ・デュフォー氏の、アイデアについて書かれた本が、書庫にある。

- 4105: 中途半端に遊説すると、ふざけてると思われるからよしたまえ。
- 4106: ヴォーロ・コズィの高級な料理が、給食に出るわけがない。
- 4107: 下手な皮肉をカンツォーネにすると、悪趣味だと、ミヒエルは語った。
- 4108: キュートな鈴を付けた猫は、どの国にもいるものだ。
- 4109: 見た目も味も素敵なスィロークを作るのは、素晴らしい技術だ。
- 4110: ミッキーのスクリーンデビューは蒸気船ウィリーで、いたずらっ子だった。
- 4111: ディズニープリンセスの変装セットで、親子共々大喜びだ。
- 4112: ディーゼル機関車は、必ずしも古いわけではない。
- 4113: 大学レベルの微分積分が、理解できるそう。
- 4114: 強烈なハーブ風味の唐揚げとは、興味深い。
- 4115: クウルティウスさんは外国人だが、貢馬という読み方を知っている。
- 4116: 歴史に詳しくないので、ヴォルガ川で合戦が起きたかは知らない。
- 4117: 木綿豆腐とコラボした、デアイゴーンのスタンプが欲しいね。
- 4118: 須磨さんは、ウォシュレットにこだわっており、ショールーム巡りの日々だ。
- 4119: 今日中に、プロヴァンスの地形の資料を博捜する。
- 4120: イェロゾリムスキエ通りで、人が十重二十重に囲んでいる。
- 4121: ミャンマー料理では、牛肉より、鶏肉や羊肉がよく使われる。
- 4122: ケリテヨイ・ラ・マゲデレンで、鷹を手据えて闊歩したい。
- 4123: 接合藻の青味泥は、何百種もあると初めて知った。
- 4124: ピノが裸子植物の実とは、不思議に思わないか？
- 4125: 暖かな陽が差す部屋で、アヴィニヨンの橋でを歌う。

4126: おい、にゃんこ賄賂など、おかしな事<sup>こと</sup>を考<sup>かんが</sup>えてはいけないぜ。

4127: 嘘<sup>うそ</sup>八<sup>は</sup>百<sup>ひゃく</sup>というドラマの主<sup>しゅ</sup>題<sup>だい</sup>歌<sup>か</sup>を、皆<sup>みな</sup>で齊<sup>せい</sup>唱<sup>しょう</sup>した。

4128: 周<sup>まわ</sup>りに茶<sup>ち</sup>化<sup>やか</sup>されても気<sup>き</sup>にしない強<sup>つよ</sup>さは、真<sup>ま</sup>似<sup>ね</sup>できない。

4129: 弓<sup>ゆみ</sup>矢<sup>や</sup>を作<sup>つく</sup>る作<sup>さぎ</sup>業<sup>よう</sup>は、ちよっと学<sup>まな</sup>んだぐらいではできない。

4130: ビュは濁<sup>だく</sup>音<sup>おん</sup>の一<sup>いち</sup>例<sup>れい</sup>だが、ビューティーに濁<sup>にご</sup>りは無<sup>む</sup>縁<sup>えん</sup>だ。

4131: ビェリークさんは、配<sup>はい</sup>膳<sup>ぜん</sup>がスピーディーなので、社<sup>しゃ</sup>食<sup>しょく</sup>の仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>に向<sup>む</sup>く。

4132: なあ、グォンさんは、臥<sup>が</sup>薪<sup>しん</sup>嘗<sup>しょう</sup>胆<sup>たん</sup>の思<sup>おも</sup>いで、これまでやってきたのだが。

4133: 徒<sup>と</sup>歩<sup>ほ</sup>圏<sup>けん</sup>内に女<sup>じょ</sup>子<sup>しだい</sup>大<sup>だい</sup>があるが、共<sup>きょう</sup>学<sup>がく</sup>志<sup>し</sup>望<sup>ぼう</sup>なので希<sup>き</sup>望<sup>ぼう</sup>しない。

4134: 妻<sup>つま</sup>の誕<sup>たん</sup>生<sup>じょう</sup>日<sup>び</sup>に、フェンディのバグ<sup>おく</sup>を贈<sup>おく</sup>るつもりだ。

4135: 是<sup>ぜ</sup>非<sup>ひ</sup>とも、この街<sup>まち</sup>が興<sup>おこ</sup>るよう<sup>きかく</sup>なイベ<sup>きかく</sup>ントを企<sup>き</sup>画<sup>かく</sup>してほしい。

4136: キャリーケースがあまりにも重<sup>おも</sup>くて、帰<sup>き</sup>宅<sup>たく</sup>後<sup>ご</sup>に脱<sup>だ</sup>力<sup>つりよく</sup>した。

4137: 絵<sup>え</sup>が得<sup>とく</sup>意<sup>い</sup>なミヒェルは、ブログにパンダのチョークア<sup>とうこう</sup>ートを投<sup>とう</sup>稿<sup>こう</sup>した。

4138: 軍<sup>ぐん</sup>隊<sup>たい</sup>ポロネーズはフォルテから始<sup>は</sup>まり、勇<sup>いさ</sup>ましさが伝<sup>つた</sup>わってくる。

4139: 五<sup>ご</sup>臓<sup>ぞう</sup>六<sup>ろく</sup>腑<sup>ぷ</sup>の大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>さを、クァンさんは重<sup>じゅう</sup>視<sup>し</sup>している。

4140: フニャドは、ブライトン・ア<sup>かくやす</sup>ンドホヴで、格<sup>みん</sup>安<sup>しゆく</sup>の民<sup>さが</sup>宿<sup>さく</sup>を探<sup>さが</sup>している。

4141: ペンディングにしたので、締<sup>し</sup>め切<sup>き</sup>りを三<sup>みつ</sup>日<sup>かの</sup>延<sup>の</sup>ばしてもらいラッキーだ。

4142: 天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>が良<sup>よ</sup>いので、川<sup>かわ</sup>原<sup>ら</sup>でト<sup>た</sup>ウンカ<sup>たの</sup>ロンを食<sup>たの</sup>べるのも楽<sup>たの</sup>しそうだ。

4143: ベートーヴェンの曲<sup>きよく</sup>は、様<sup>さま</sup>々<sup>ざま</sup>な感<sup>かん</sup>情<sup>じょう</sup>が沸<sup>わ</sup>き起<sup>お</sup>こる。

4144: グエイラの声<sup>せい</sup>優<sup>ゆう</sup>さん<sup>さん</sup>も、龍<sup>りゅう</sup>角<sup>かく</sup>散<sup>さん</sup>を飲<sup>の</sup>むかもしれない。

4145: ツィアさんは、虫<sup>むし</sup>刺<sup>さ</sup>されで真<sup>ま</sup>っ赤<sup>か</sup>に 瞼<sup>まぶた</sup>を腫<sup>は</sup>らし、気<sup>き</sup>の毒<sup>どく</sup>だ。

4146: ギェナーの靴<sup>くつ</sup>や、錠<sup>じょう</sup>剤<sup>ざい</sup>カッターなどをアマゾンで探<sup>さが</sup>す。

4147: このティーシャツの生地は高級で、舶来物だと聞いた。

4148: まあ、バリュープライスという言葉には、やはり心が揺るぐ。

4149: 買い忘れのないよう、クーカーオートミールを、真っ先に買う。

4150: 支那そばを食べただけに、あんなに急ぐとは情熱的だ。

4151: 拾萬円をラップで包むのはありえないので、祝儀袋を買え。

4152: 父の初七日の儀を終え、少し休憩している。

4153: 平等は夫婦円満のカギとなると、ルドルフォヴナは語った。

4154: シンフォニーとお経をコラボしたら、お坊さんのファンが増えるかな？

4155: ムシトリスミレウェサーを畑に植えることは、確実でないぞ。

4156: サクソフォンの神と呼ばれているデヨンさんは、元々吹奏楽部だ。

4157: 河川敷でいつ行事があるのか、こっそり教えてくれないか？

4158: ジャズの流れるお洒落なバーで、フェテヤスカニャグラをじっくり飲む。

4159: わさびデールは玩弄物ではないので、幼児が触らないようにする。

4160: シーネットの四千円の扇風機を、近々買う予定だ。

4161: 四月のノール・パ・ドゥ・カレ地方に、春の兆しを感じるぜ。

4162: テュルクスタンのことは詳しくないが、古墳はないと思うよ。

4163: 本日の主演に、上座に座ってもらうのが良いだろう。

4164: 髪型に拘る彼は、頭皮用シェーバーで整髪するそうだ。

4165: ねーねー、ピエールは暑いのが苦手なのに、なぜ夏が好きなのだ？

4166: 棚卸表に在庫数を記入する仕事を任すぞ。

4167: んー、イエール大学に行くことを、親に許してもらえるかな？



4168: ラプンツェルが、<sup>とう なか と こ な</sup>塔の中に閉じ込められ泣いている。

4169: <sup>くろすいぎゅう し</sup>黒水牛を知らなくて、<sup>はんこや はじ</sup>判子屋で恥をかいた。

4170: あの<sup>がくしゃ</sup>学者は、<sup>せぞく</sup>世俗を<sup>ちょうえつ</sup>超越した<sup>ひょうげんりよく</sup>表現力がある。

4171: 俺は、<sup>おれ</sup>グアバ茶と、<sup>ちゃ</sup>牛肉の<sup>ぎゅうにく しぐれに</sup>時雨煮の<sup>く あ</sup>組み合わせが<sup>す</sup>好きだ。

4172: カデンツァがまだ<sup>うま ひ</sup>上手く弾けないが、しばらくは<sup>やさ みまも</sup>優しく見守ってほしい。

4173: <sup>あいしゅうただよ</sup>哀愁漂う、<sup>じんせい だい</sup>人生の大ベテランが<sup>すてき</sup>素敵だ。

4174: 木々の間に<sup>き ぎ ま たぬき</sup>狸がいることは<sup>めった</sup>滅多にないし、<sup>きけん</sup>いたら危険だろう。

4175: リヤマについて<sup>べんきょう</sup>勉強したのは<sup>ちゅうがく</sup>中学だったか、<sup>なつ</sup>懐かしいね。

4176: <sup>あらあら</sup>荒々しい<sup>もうこ</sup>猛虎が、<sup>は</sup>ぴょんとかわいらしく跳ねるわけがないぜ。

4177: セクォアの<sup>しよつき</sup>食器は、<sup>あぶらよご</sup>脂汚れも<sup>かんたん</sup>簡単に<sup>あら</sup>洗い<sup>おと</sup>落せる。

4178: グウキッチン、<sup>しずおか</sup>静岡に<sup>じつざい</sup>実在する<sup>なまえ</sup>レストランの名前だ。

4179: <sup>まと い</sup>的を射るとは、<sup>しゃげき</sup>射撃や<sup>きゅうどう</sup>弓道が<sup>ごげん</sup>語源となっている。

4180: 荻野さんが、<sup>おぎの こえ ひく</sup>声を低めて<sup>しゃべ</sup>喋ると<sup>いげん ま</sup>威厳が増す。

4181: <sup>おそ</sup>恐らく、<sup>れきし</sup>チェンバロの歴史を<sup>くつがえ</sup>覆すような<sup>せつ</sup>説はないはずだ。

4182: テートリヒェスギフトを買ったら、<sup>か</sup>人生に<sup>じんせい</sup>いい風が<sup>かぜ ふ</sup>吹いてきた。

4183: あの人は、<sup>ひと</sup>司祭の<sup>しさい</sup>言葉を<sup>ことば</sup>妙に<sup>みょう</sup>信じている<sup>しん</sup>そうだ。

4184: <sup>むすこ</sup>息子も又、<sup>また</sup>父<sup>ちちどうよう</sup>同様に<sup>りっぱ</sup>立派な<sup>じゅがくしゃ</sup>儒学者である。

4185: ミエルマカロンの<sup>ふく き</sup>服を着て、<sup>ともだち</sup>友達<sup>もほう</sup>のファッションを模倣する。

4186: キョンリエを<sup>けいべつ</sup>軽蔑するのはよくないし、<sup>ひと</sup>そもそも<sup>けいべつ</sup>人を軽蔑するな。

4187: <sup>ひやっくん</sup>百均の<sup>しゅうぎぶくろ</sup>祝儀袋でも、<sup>み ば</sup>見栄えが<sup>よ</sup>良いので<sup>じゅうぶんつか</sup>十分使える。

4188: フィラメントは<sup>ぼうせきいと</sup>紡績糸の<sup>いっしゆ</sup>一種で、<sup>なが</sup>長い<sup>せんい</sup>繊維から<sup>う</sup>生まれた。

4189: 静寂な夜に、ヴィンテージワインを一人で飲むのが好きだ。

4190: ヒューマニエンスは、人類の歴史を学べて面白い。

4191: 多分、駅の売店に、フエアハンドランタンは売ってないだろう。

4192: ゼット世代の子供たちは、ピュアな心で世の中を見ている。

4193: 乙女チックな彼女は、恋のポエムを詠むのが趣味だ。

4194: 頑固な澄一郎が、やっと了解してくれほっとした。

4195: グィアさんと、ノルウェー料理店で過ごした時は楽しかった。

4196: 天気予報を見てないので、ミュンヘンの今日の湿度をまだ知らない。

4197: ぞくぞくするような寒さにも、耐性があるのが羨ましい。

4198: ダー、ニェット、今年もロシアに、すごく寒い冬が来るぞー。

4199: キャンプファイヤーの時に、学級でジェンカをおどるのが楽しみだ。

4200: 僧侶は邪心や煩惱を捨て、遊行に専念する。